

《稲梓小学校》

- ・新型コロナウイルス感染症に気をつけながら、前向きに、元気に仲良く過ごすことができた。6年修学旅行(静岡)、5年宿泊体験(田牛)、運動会等、予定していた行事を無事に行うことができ、充実した教育活動に取り組むことができた。
- ・教職員は、学校内でクラスターが発生しないよう神経を使いながらも、できるだけ通常通りの学校生活を送ることができるよう、知恵を出し合い、相談しながら校務にあたった。
- ・保護者、地域の方が、学校や市のコロナ対策に理解を示してくださり、助かった。全体的に大きなトラブルもなく、1学期を終えることができた。

《稲生沢小学校》

- ・学習や行事等について、感染症拡大防止のために延期や実施方法を変えることはあったが、子どもは目標に向かって意欲的に取組、達成感のある1学期だった。
- ・教職員についても、明るく協働し、認め合い、伸ばし合う雰囲気がある。子ども一人ひとりを大切にすあまり、どうしても時間外の家庭連絡等も多くなってしまうことから、働き方を見直す必要性があると感じている。
- ・図書システムの導入を進めていただき、とても助かった。

《白浜小学校》

- ・保護者の協力があり、学校には元気な児童が登校する状態を保つことができた。コロナに感染した児童がいたが、学校内で感染が広がることもなく、安全・安心な学校生活を送ることができた。
- ・感染症対策に予算をつけていただき、できる限りの感染症対策ができた。感謝している。
- ・感染予防への意識付けを日々指導しているが、休み時間の異学年の交流や、合唱や器楽演奏を制限することで、児童がさびしさを感じたり、そうした学習の経験を積むことができなかつたりする面はある。コロナ禍での教育活動の在り方を探りたい。

《浜崎小学校》

- ・転出入の多いスタートとなったが、子どもたちは落ち着いて前向きな学校生活を送っていた。年度当初転入してきた児童の中に発達に課題のあるお子さんが複数おり、前在籍校では友人とのトラブルや不登校も見られたとのことだったが、少しずつ学校に足が向くようになり、がんばる姿が見られている。
- ・コロナの影響で、交流する場面がなかなか取れずにいるが、遠足や運動会などの行事では、子どもたちは6年生を中心として縦のつながりをもって楽しく過ごしている様子がうかがえる。
- ・教職員は明るい雰囲気でも過ごしており、のりしろが多く互いに手伝う光景が見られる。今年度異動して来た教職員も、生き生きと活躍している。研修も充実し、授業改善が進んでいる。

《下田小学校》

- ・コロナ禍ではあるが、感染症対策をしながら、子ども達は元気に1学期を過ごした。
- ・行事については取組を工夫し、6年修学旅行、5年宿泊体験、3・4年社会科見学、1・2年生活科での体験活動など、体験を通して学習を深めることができた。
- ・感染症対策や熱中症対策等、配慮しなければならぬ点も多かったが、とくに大きな問題もなく、落ち着いて生活することができた。

《大賀茂小学校》

- ・1学期前半は、予定されていた活動や行事を計画通り実施することができ、子どもたちは目標に向かって意欲的に取り組むことができた。
- ・後半は、新型コロナウイルス感染症の不安が高まり、延期や変更を余儀なくされた活動もあったが、子どもたちはやれる範囲で前向きに活動に取り組むことができた。
- ・教職員は、ICTの積極的な活用を進め、自宅待機の子どもとリモートでつないで学習を進めるなど、子どもたちの学習保障や、子どもたちとの信頼関係の構築に努めることができた。

《朝日小》

- ・コロナ禍ではあったが、感染症対策を講じながら、ほぼ予定通りの教育課程を実施することができた。
- ・ICTを活用しながら、学びを止めないよう努力した。学校としてICTの活用を進めていこうという雰囲気がある。
- ・行事・体験活動等も、感染状況を見ながら内容や方法を工夫し、できるだけ実施した。
- ・7月に入ってから児童が感染する例が見られたが、教職員の中からは感染者は出ず、全体としては元気に過ごすことができた。

《下田中学校》

- ・統合初年度、様々な心配があったが、生徒は明るく落ち着いた学校生活を送ることができた。改修された校舎を大切にす清掃活動、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応にも、柔軟に対応することができた。
- ・教職員は、学校長のリーダーシップのもと、常に前向きに、一丸となって日々の教育活動に取り組んでいる。

〔通学について〕

- ・大きなトラブル、混乱はなかった。東海バスののりつきについての問い合わせが多く、通学方法(変更手続き等)は校内の担当と教育委員会が丁寧に対応してくださっており、感謝している。
- ・自転車通学者への安全指導は繰り返し行っているが、地域からの心配の声も多い。継続して安全指導を進めている。

〔部活動について〕

- ・4中学校がひとつになったことで、部活動について、保護者や生徒の不満が出てくると予想していたが、学校に対しては何一つクレームもなく、生徒は生き生きと活動していた。
- ・ただ、コロナによる出席停止・部活動停止の対応には、生徒をがまんさせてしまったことが多く、心苦しかった。

○各校、コロナ禍の中でも、子どもたちが明るく前向きに学校生活を送っている様子が見られる。

○とくに前半は、感染状況も落ち着いており、各種行事・諸活動等、計画通り実施でき、目標に向かって努力する姿や達成感を味わう姿が見られた。

○6月末から7月にかけて感染拡大が見られ、内容や方法の修正や工夫、延期等対応したが、その中でも子どもも教職員もがんばる姿が見られた。ICTの活用については、感染拡大を契機に、具体的な取組が進んだ側面もある。今後も取組を進めたい。

○新下田中の通学については、丁寧に対応を進めたことにより、大きなトラブルや混乱はない。

○新下田中の部活動については、統合による不満が出てくるとを予想していたが、学校に対するクレームはなく、生徒が生き生きと活動に取り組んでいる。感染拡大による出席停止・部活動停止については、生徒をがまんさせることも多く心苦しかったが、できる限り生徒が活躍できるよう検討するとともに、対応を進めている。